

部活応援隊が行く!!

ひとつ上の成績を気をめざして 四日市メリノール学院高等学校 弓道部

現在、部員数48人の四日市メリノール学院高等学校弓道部。弓道場は多数の部員で埋め尽くされますが、道場内は静けさが広がります。

Q1 弓道を始めたきっかけを教えてください。

A1 (松本さん)ひとつの動作を極めるということにひかれて始めました。



男子部長
松本 忍さん
(まつもとしのぶ)

Q2 部長として心がけていることを教えてください。

(堀木さん)部活体験で先輩方が凛とした姿で引いているのを見て自分もやりたいと思いました。



女子部長
堀木 麻央さん
(ほりきまお)

(堀木さん)周りの状況や様子をみて、部員の意見も聞き部活に生かしていくことを心がけています。



Q3 次はどのような大会がありますか？

A3 (松本さん)まずは県総体でいい結果を残せるよう、練習しています。

成果を発揮し、東海大会・インターハイへ出場したいと思っています。



Q4 後輩たちに向けて伝えたいことを教えてください。

(松本さん)部員の数も多く、みんなが高めあうことができるといい環境があります。自分たちが部活を引っ張っていくと強い自覚をもって弓をひいてもらいたいです。

(堀木さん)部員の数が多いので色々大変ですけど多いというところを活かして、お互いに高めあって成長してほしいです。



3年生



2年生

二次元コードを読み取ると弓道部のコメントが見られます。



Q5 部活を通じて生徒さんに学んで欲しいことを教えてください。

(竹神先生)弓道は見つめなおすであったり、振り返るや反省するということがあるので、それを日頃の生活においても生かして欲しいと思います。

Q6 部員が多い中でモチベーションを保たせる秘訣を教えてください。

(竹神先生)部員同士の関わりがとても大切。頑張った選手が代表となれる、代表者は選ばれたという高い意識を持つ部活を目指しています。その結果が成果として現れたいと思います。



顧問 竹神 佐織里先生

